

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>1 学習意欲・・・タブレット活用研修等を行いICT利活用教育の推進はできたが、家庭学習において個に応じた指導が不十分であった。家庭における学習意欲を向上させるにはまだ課題がある。宿題の出し方の工夫が必要である。</p> <p>2 生活習慣・・・生活記録表を活用した個別の支援や、記録表の分析結果、課題等を活用した家庭との連携を行った結果、基本的な生活習慣の定着につながった。生活記録表を活用した家庭学習習慣の定着を図る情報発信を継続的に行い、家庭と連携をしていく必要がある。</p> <p>3 人権意識・・・人権・同和教育、道徳等の授業や、行事等の体験活動を実施し、様々な価値観や違いを認め合う人間関係作りができた。しかし、コロナ禍の影響もあり、まだまだ現実の対人のコミュニケーション能力を高める必要がある。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	夢に向かう颯爽とした生徒の育成 ～「嬉中まなび力」「嬉中しぐさ力」「嬉中きずな力」～
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>1 学習意欲・・・生徒の自己肯定感を高め、授業を大切に、対話的な学びができる生徒を育成する。</p> <p>2 生活習慣・・・「あいさつ」「掃除」「時間」を意識して指導し、自律した生徒を育成する。</p> <p>3 コミュニケーション能力・・・生徒同士のつながりを大切に、思いやりのある生徒を育成する。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	○対話的な学びを実現する授業の実践	○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した生徒80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、授業で適切に「話し合う活動」を設定する。							・学力向上コーディネーター ・校内研「授業づくり部会」
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「自他の生命や人権を尊重している」と回答した生徒90%以上	・人権・同和教育、道徳等において人権の視点に立った授業や体験活動を行う。 ・集団づくりに関する研修を年間3回以上行う。							・人権・同和教育担当 ・道徳担当 ・校内研「集団づくり部会」
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行う。 ・個別のケース会議を適切に行い、対応方針の決定・共通理解・共通実践を行う。							・生徒指導担当 ・教育相談担当
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上	・各種体験活動では、活躍の場と役割を設定し、達成のための指導を行う。 ・キャリア教育を推進し、自分の将来について考える機会を設定する。							・学校行事企画担当 ・総合的な学習の時間担当 ・進路指導担当
	○望ましい生活習慣の形成	○「あいさつを進んでいる」生徒85%以上 ○「掃除を丁寧にしている」生徒85%以上 ○「時間を意識して生活を送っている」生徒85%以上	・不登校対応等(不登校予防のための取組、ケース会議等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上 ・不登校対応についての研修・会議を年間に2回以上行う。 ・個別のケース会議を適切に行い、対応方針の決定・共通理解・共通実践を行う。							・教育相談担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上	・生徒会と連携し、給食時の放送等で給食への関心を高める。 ・学校栄養職員と連携し、必要な栄養について知識を深め、自己の健康管理を意識させる。							・給食・食育担当
	○業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を毎週設定する。 ・部活動休養日を適切に設定する。 ・効果的・効率的な業務推進をする。							・管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
○特別支援教育	○教員の専門性と意識の向上	○「特別支援教育の理解を深め、個に応じた指導・支援に努力している」教師90%以上	・支援を要する全ての生徒に対して、個別の支援計画を作成し活用する。 ・UDを意識した教室環境や板書の仕方等、生徒の状況に配慮した指導を共通実践する。							・特別支援教育担当 ・校内研「個に応じた指導部会」

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------